

教育システム情報学分野における産学連携とは？

米谷 雄介^{*1}

What Does Industry-Academia Collaboration Mean for the Field Covered by the Japanese Society for Information and Systems in Education?

Yusuke KOMETANI^{*1}

Industry-academia collaboration has been a core orientation of the field covered by the Japanese Society for Information and Systems in Education (JSiSE) since its founding. This paper organizes such collaboration into three categories: research and development, demonstration and social implementation, and human resource development, and reviews representative cases including learning analytics platforms, large language model deployments, and educational VR systems. We then discuss the value and challenges of collaboration, including the educational effect of involving students in real-world problem-solving, the underdevelopment of mechanisms for sharing collaborative outcomes across the academic community, and the need to broaden paper evaluation criteria to include systemic value beyond quantitative learning effects. Finally, we describe the activities of the JSiSE Industry-Academia Collaboration Committee and its pipeline strategy, in which a portal site serves as the entry point and individual matching coordination is positioned as the ultimate goal.

キーワード：産学連携，教育システム情報学，EdTech，社会実装，生成AI

1. はじめに

教育システム情報学は、教育・学習に関わる情報システムの研究・開発・利活用を対象とする実践志向性の強い学術領域である。本学会は1974年に発足したCAI学会を前身とし、改称と法人化を経て今日に至るが、学会設立の趣旨として「教育・学習と産業の発展との関係性」が重視されており、本分野は設立当初から産業界と密接な関係を有してきた[1]。

教材配信、学習管理システム(LMS)、学習分析、適応学習、対話型AIチューターなど、本分野における主要な研究対象は、大学の研究シーズと産業界の開発・運用基盤が接続してはじめて社会実装へと展開されてきた。近年は、GIGAスクール構想による小中学校への1人1台端末環境の整備、経済産業省「未来の教室」事業[2]による民間EdTechサービスの公教育導入実証、および大規模言語モデルに代表される生成AI技術の急速な普及等を背景として、産学連携の形態自体が変容している。

本稿では、教育システム情報学分野における産学連携のあり方を類型別に整理し、その価値と課題を論じ

たうえで、今後の展望を示す。なお、本稿で挙げる事例は一つの類型に縛られるものではなく、実際の多くの連携も複数類型にまたがる場合が多いことを予め断っておく。

なお本稿では、産学連携の主役を産業界(企業)と学術界(大学・研究機関)の二者に置き、自治体・教育委員会・国の政策当局等の公的セクターは「連携の場・制度的環境を提供する第三のプレイヤー」として扱う。ただしこれは公的セクターを単なる背景に位置づける趣旨ではない。これらの公的セクターの間には所管領域や政策方針の違いから制度的文脈の差異が存在し、例えば国の方針と都道府県教育委員会の方針との間で齟齬が生じる場合もある。こうした制度的文脈間の不整合は教育システム全体の生産性を阻害しうるため、例えば、産業界と学術界がゴールの一つである初等中等教育のあるべき姿を共有しつつ、制度的文脈を横断的に点検し不整合を是正する機構を備えることが本分野の産学連携に求められる役割ともなる。

次章ではまず、産学連携の枠組みと本分野の固有性を整理する。

^{*1} 香川大学情報化推進統合拠点(Integrated Center for Informatics, Kagawa University)